

3 Rをやってみよう

3 Rを生活に取り入れよう

臨海リサイクルプラザ(3 Rステーション)が開館した頃は、“リサイクル”という言葉が時代の最先端でした。それから年月の経過とともに、リサイクルに対する考え方も変わりました。今では“3 R”という言葉をよく聞くようになり、リサイクルはその中の3番目に登場します。

3 Rとは何かということを知っていただきたいという思いから、平成28年1月号から広報誌1ページの下の部分に「3 Rとは？」というミニコーナーを設けました。“3 R”と言うとちょっと難しく感じるので、日頃の生活のいろいろなことが3 Rにつながっているということがわかるように、一言コメントを掲載しています。今回、広報誌200号記念として、これまでのコメントをまとめました。日々の生活に役立てていただければ幸いです。

平成28年

- 1月号(178号) お出かけにはマイバッグ・マイはし・マイボトルを持って行きましょう
- 2月号(179号) 身近なものを大切に使う、これも大事なごみ減量
- 3月号(180号) 福岡市では、1人1日20グラムのごみ減量を目指しています
- 4月号(181号) 鉛筆や消しゴムなどの文房具は最後まで使い切ろう
- 5月号(182号) お出かけには水筒・ハンカチを持って行こう
- 6月号(183号) 雨が降りそうな日は折りたたみ傘を持っていこう
- 7月号(184号) お出かけには、マイはしを忘れずに持っていこう
- 8月号(185号) 使い捨て容器をリユース食器に替えてごみ減量
- 9月号(186号) ごみを捨てる前、もう一度見直しをして分別しよう
- 10月号(187号) 使い捨ての容器ではなく、何度でも使えるリターナブルびんを積極的に使おう
- 11月号(188号) 壊れても、修理ができるものは修理をして使おう
- 12月号(189号) 紙パックは洗って、開いて、リサイクルに出しましょう



平成29年

- 1月号(190号) 不用になった衣類は洗濯をして、リユースに出しましょう
- 2月号(191号) 使用済の小型電子機器は、緑色の回収ボックスに入れましょう
- 3月号(192号) 詰め替え用品を利用して、容器などは繰り返し使しましょう
- 4月号(193号) 食料品は買すぎず、計画的な買い物でごみ減量
- 5月号(194号) 使用済みの蛍光灯や乾電池は、家電量販店などの回収ボックスに入れましょう
- 6月号(195号) 傘が壊れたら、修理をして使しましょう
- 7月号(196号) 小さな雑がみは、紙袋に入れて十字にしばり、古紙回収に出しましょう
- 8月号(197号) 食事の作りすぎや食べ残しをなくそう
- 9月号(198号) ごみの出し方がわからないときは、家庭ごみルールブックで確認しよう
- 10月号(199号) リターナブルびんは販売店に返すか、地域集団回収に出しましょう
- 11月号(200号) 東区と西区にある3 Rステーションを利用して、3 R生活をしましょう

※平成24年4月号から平成29年9月号までの発行号数が誤っていました。今月号の1・2ページでは正しい発行号数を記載しています。

臨海3 Rステーション2階の事務局前に、広報誌「エコライフ臨海」の過去2年分のバックナンバーを置いています。気になる号があればご自由にお取りください。また、臨海3 Rステーションホームページの「広報誌」のページでは、平成28年5月号からの広報誌がPDFデータで見ることが出来ます。ぜひご利用ください。

広報誌を置いていただける施設や店舗、広報誌を配布していただける団体さまなどを、随時募集しています。ご希望の部数などを臨海3 Rステーションまでお知らせいただければ、毎月お送りいたします。



広報誌バックナンバー

エコネットふくおか理事長紹介

馬場崎理事長挨拶

この度、特定非営利活動法人エコネットふくおかの理事長に就任しました馬場崎正博です。福岡市で環境問題を専門に仕事をしてきましたので、環境に関して地域や臨海3 Rステーションを発展させていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

馬場崎理事長にインタビューをしました。

- Q** 馬場崎理事長が福岡市の環境部門に40年携わってこられた中で、特に印象的だったことをお聞かせいただけますか？
- A** まず一つは、多くの自然環境保全の団体の反対の中で、シーサイド百道の埋め立て地前面に人工海浜ができたことです。もう一つ、埋め立てが予定されていた和白干潟を残し、島方式で港湾計画を改訂したこと、この二つが特に印象に残っています。
- Q** 汚染に関しては、大気と水質を研究されて博士号を取得していらっしゃいますが、エコネットふくおかの活動とリンクする事柄はありますか？
- A** エコネットふくおかは固形のごみの廃棄物関連ですが、空気中のごみが大気汚染、水中のごみが水質汚濁です。空気も水も大地も汚さない工夫が大切なことはいずれも同じだと思います。
- Q** リサイクルや3 Rの研究が日々進化していますが、環境問題全体からごみ問題を考えた時、大きな転換期にきていると思われませんか？
- A** 断舍離、ロハス(※)に代表されるように必要な物だけを大切に長く使うことや、環境を考えながら有機野菜を食べる健康的な生活を送っていきこうという人々が増えてきています。平成10年のNPO法成立と平成10年に成立した家電リサイクル法や、平成17年福岡市のごみ袋有料化に伴う市民のリサイクル意識の高まりによってリサイクル率も、平成28年度には31.3%まで高まってきました。将来、平成37年度のごみ減量は38%を掲げており、ごみの発生抑制と合わせ、さらなるごみのリサイクルの対策が求められています。リサイクルショップなどのリユースマーケットも増えてきましたが、大量生産・大量消費の行動は続いているといえるでしょう。本来、日本人には古いものを大事に使う文化がありました。安くてすぐ壊れる物はごみとなって、美しい谷に埋め立てられていくことに思いをはせたとき、再び物を大切に長く使う文化を取り戻していくことが大切だといえるでしょう。

※LOHAS = Lifestyles of Health and Sustainability の頭文字をとった略語で、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイルのこと。



馬場崎理事長

臨海3 Rステーション講座紹介

11月ものづくり講座

講座の申込方法は4ページに掲載しています。皆さまのご参加、お待ちしております。

11月9日(木)・16日(木) 10:00~13:00
『かんたんもんぺ作り』【全2回】
※全2回参加できる方

参加費：無料
持ってくるもの：古布、ゴムひも
着物の場合は、ほどいて水を通して、アイロンをかけて持ってきてください。



もんぺ

11月9日(木) 10:00~12:00
『森のリサイクル
端材を使ってマイチェアを作ろう』
講師：高田和彦氏
参加費：500円(材料代)



マイチェア

11月15日(水)・22日(水) 10:00~13:00
『クリスマスリース&小物作り』【全2回】※全2回参加できる方

講師：田中喜代子先生
参加費：200円(綿代)
持ってくるもの：
ツリー 布(30cm×30cm)、はぎれ、リボンや毛糸、ひもなど
リース 2種類以上の布(各30cm×40cm)

裁縫道具、布切りばさみ、紙切りばさみ、チャコかチャコペン、手縫い糸60番、縫い針、筆記用具、定規



クリスマスリースと小物